

# 「15年後の自分へ」。 かけがえのない 思い出たち

旧菅福小学校のタイムカプセル開封



## みんなで埋めた思い出の品々(一部)

- ▶青砥美紗さん(福長・写真左)
  - ・国語、算数の教科書 ・筆箱
- ▶坂本亜里紗さん(上菅・中央)
  - ・絵日記 ・ドリル ・名刺 など
- ▶長尾静香さん(福長・右)
  - ・がんばる算数
- ▶小林綾子さん(上菅)
  - ・賞状 ・自分の似顔絵



▲ 15 年前のタイムカプセル埋設の様子 (2001 年 3 月)

同じ時を過ごした仲間たち  
色あせない記憶と再会

8月15日、上菅の旧菅福小学校で、タイムカプセルの開封式が行われました。タイムカプセルは、平成13年3月に廃校となった旧菅福小学校の当時の児童らが、15年後の開封日を胸に刻み、校舎に別れを惜しんで埋設したものです。

当日は、当時の児童7人のほか、教職員や保護者、地元住民ら約30人が出席。大人に成長した元児童らの手で丁寧に掘り起こされました。15年ぶりに開封されたタイムカプセルから、思い出の品々が姿を現すと、大きな歓声が上がっていました。

開封式後には、菅福社会



▲当時のノートを手にも思わず笑みが

体育館で交流会が開かれました。廃校時の校長だった山中芙蓉さん(伯耆町)は「一人一人がそれぞれの夢に向かって歩んできた15年をひもときながら、ゆっくり語りあう一日にしたい」とあいさつ。思い出の品々を囲み、懐かしみながら語り合う姿が見られました。

## 思い出の場所から それぞれの新たな夢へ

菅福小学校は、1873(明治6)年に開校。最大で119人の児童が在籍し、廃校までの128年間、数々の歴史と伝統を築き上げた学びやかからは、約1200人が巣立ちました。

交流会では、「15年後の自分へのメッセージ」を元児童らが披露しました。当時、1年生だった西村賢人さん(福長)は、「野球やラグビーがしたい、ごはんをいっぱい食べたいと書いていた」とはにかみながら紹介。「今は神戸で会社員をしているが、3年後には地元へ帰りたい」と、新たな決意を話し、ふるさとへの思いを強くしていました。



故山田芳美さんに正六位しょうろくゐ

町役場で叙位の伝達式

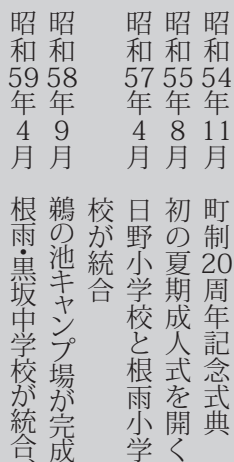


今年6月に死去した、元日野町長の故山田芳美さんが正六位を受章し、8月2日、町役場で、景山町長が長男の山田厚弘さん（津地）に叙位を伝達しました。

山田芳美さんは、町制20周年を迎えた昭和54年に町長に初当選。在職中、根雨・黒坂中学校の統合や防災行政無線の整備をはじめ、老人保健施設の誘致、庁舎・文化センターの建設などを手がけ、平成7年までの4期16年にわたり、町制の発展に尽力されました。

まちのあしあと

く山田芳美町政の主なできごとを振り返りますく



|                           |    |          |        |        |    |
|---------------------------|----|----------|--------|--------|----|
| 日野中学校が開校                  | 4月 |          |        |        |    |
| 第1回カヌースラローム選手権大会開催        | 4月 |          |        |        |    |
| 全国広報コンクールで広報ひのが内閣総理大臣賞を受賞 | 4月 |          |        |        |    |
| 金持まつり開催                   |    | 昭和61年8月  |        |        |    |
| 台風19号による災害                |    | 昭和62年10月 |        |        |    |
| 防災行政無線工事 completed        |    | 平成元年10月  |        |        |    |
| 町出身者による懇談会                |    | 平成4年1月   |        |        |    |
| 「ひの郷会」を結成                 |    |          | 平成5年4月 |        |    |
| 役場新庁舎完成                   |    |          | 11月    |        |    |
| 間地トンネルが開通                 |    |          |        | 平成7年4月 |    |
| 介護老人福祉施設                  |    |          |        |        | 5月 |
| 「おしどり荘」が開所                |    |          |        |        |    |
| 町文化センター竣工式                |    |          |        |        |    |



察の結果を発表しました。

続いて、平井知事らとの意見交換が行われました。その中で、景山町長は「小さなまちだが、黒坂小学校は地域を元気にするための拠点で、なくてはならないもの」と発言。そのほかの出席者からも、「小学校と地域との連携が昔から深く長く続いている」「小規模だが、学校と地域の連携で生まれる相乗効果がある」など、小学校の存在の重要性を訴えました。

平井知事は、「学校と地域とのきずなの深さを感じた。それをいつまでも続けてほしい」と話しました。



8月11日、黒坂小学校で、「伸びのびトークin日野」が開かれ、平井伸治鳥取県知事と黒坂小学校の学校関係者らが意見交換を行いました。

この会は、平井知事や県幹部職員が地域住民や団体、行政関係者らと、その地域が抱える課題などについて直接意見交換を行うもので、日野町からは、景山町長や神庭賢一黒坂小学校校長、PTA、学校評議員のほか、黒坂小学校4年生4人も参加しました。

意見交換に先立ち、平井知事らは4年生の授業を参観。児童らは、「夏の生き物」というテーマで、学校内に作られたジオトープの生き物観察の結果を発表しました。

みんなで創る・守る 未来のくろさか

平井鳥取県知事と意見交換「伸びのびトークin日野」